

1890: ルールサマリー

1 株式ラウンド (SR)

- 優先売買プレイヤーから時計回りに株の売買を行なう
- 一度パスしても再復帰できる
- 1手番で売却・購入もしくは購入・売却ができる

1.1 売却

- 1手番で何枚でも売却できる
- 株価チャートの価格で売却し公開市場に置く
- 売却1株ごとに株価1段下落
- 公開市場と同じ会社の株は50%まで。
- 社長を交代できない場合、社長株は売却不可

1.2 購入

- 1手番で1枚だけ購入できる

銀行から購入 初期価格

公開市場から購入 株価チャートの価格

- 同じ会社の株は60%まで
- 一度売却した会社の株を同じSR内で購入不可

公共会社の設立

- 初期価格を選択し、×2で社長株を購入
- 以後、計50%分購入されたら設立
- 設立時に金庫に初期価格×10の資金を獲得

JR 初期価格は\$100 固定

近鉄 設立時に初期価格×4の資金を獲得

株価チャート

黄色 株券保有枚数制限に数えない

茶色 +60% 制限解除

閉鎖 会社を閉鎖してゲームから取り除く

1.3 株式ラウンドの終了

- 全パスの最初のプレイヤーに優先売買を渡す
- 売り切れている会社の株価が1段上昇

2 運営ラウンド (OR)

- 個人会社と後発会社の収益を得る
- 小会社を番号の順に運営する
- 公共会社を株価の順に以下の手順で運営する

2.1 本社の駅トークンの配置 (初回のみ)

- 駅トークンを指定の都市に配置

2.2 線路タイルの配置 (任意)

- タイルを1枚置くか置き換える
- 置き換えは既存の線路を維持する
- 既存の線路が新しい線路に到達可能であること
- 未買収の個人会社のヘクスには置けない
- 盤外、海上、進入不可ヘクスサイドに向けない

JR 2枚まで配置/置換できる (5列車以降は1枚)

阪急 黄色タイルを置くと金庫に\$10獲得

地下鉄 初回運営時、大阪市内を無料で置き換え

2.3 駅トークンの配置 (任意)

- 駅トークンを1個置ける
- 1タイルには1社1個まで

- 自社の既存の駅から到達可能であること

2.4 列車を運行する

- 経路内に自社の駅トークンが最低1個は必要
- 列車タイプの都市数まで運行可能 (Dは∞)
- 小都市も都市数に数える
- 列車の+Xは小都市のみに使用できる
- 交差点で逆行できない
- 同じ都市・線路を2回使用できない
- 盤外都市は始点か終点のみ
- 他社のトークンで占められた都市は通過不能
- 経路内の都市の価値の合計分の収益を得る

地下鉄 大阪市内の茶色タイル上の他社トークンを無視

複数の列車を運行するときの制限

- 同じ線路を2回使用できない
- 同じ都市をそれぞれの列車で使用できる

2.5 配当・内部留保

配当 収益を株主に分配、株価を右に移動

留保 収益を金庫に入れ、株価を左に移動

- 無収入なら内部留保扱い
- 銀行の株は誰にも配当しない
- 公開市場の株は会社の金庫に配当する

JR 収益の半分 (切捨て) だけを配当。残りは金庫に。

阪急 宝塚に駅があると金庫に+\$40

阪神 茶色の西宮を使用すると収益+\$10、金庫に+\$10

2.6 列車の購入 (任意)

銀行/公開市場から: 定価

他社から: 任意の価格 (\$1以上)

- 銀行の列車は数字の順に購入する
- 1両ずつ購入し、フェイズ更新を直ちに適用
- 保有制限数を越えて購入できない
- 保有制限数を越えた列車は公開市場に置く
- 4~6列車を下取りしてDを\$800で購入できる

列車保有義務

- 運行ルートのある (小・公共) 会社は最低1両の保有義務
- 資金が不足する場合は列車の強制購入で社長が負担する

列車の強制購入

- 公開市場か銀行から最安値の列車を購入する
- 社長が不足分を支払えない場合は株式を売却する
- その会社の社長が交代してはならない
- 公開市場の枚数制限 (50%) が適用される
- 全株式を売却しても不足するならプレイヤー破産

2.7 個人会社の買収 (任意)

- 運営中いつでも行なえる (3列車以降)
- プレイヤーから購入する (定価の $\frac{1}{2}$ ~2倍)

3 終了と勝利条件

銀行破産: 規定回数の運営ラウンドの終了時

プレイヤー破産: 直ちに終了

以下の総資産額の最も多いプレイヤーの勝利

- 所持金
- 株券の時価総額
- 個人会社の定価の合計額

フェイス表

列車	価格	枚数	タイル	廃車	OR 回数	列車制限	盤外都市	イベント
2	\$80	9	黄		1	2/4/6	低	
2+2	\$120	3	黄		1	2/4/6	低	
3	\$180	5	黄緑		2	2/4/6	低	個人会社を買収可能 近鉄設立可能
3+3	\$230	2	黄緑		2	2/4/6	低	近鉄強制設立
4	\$300	4	黄緑	2 列車	2	1/3/4	低	
5	\$450	3	黄緑茶	2+2 列車	3	1/2/3	中	個人会社閉鎖
6	\$630	2	黄緑茶	3,3+3 列車	3	1/2/3	中	D 列車購入可能
D	\$1100 (\$800)	∞	黄緑茶	4 列車	3	1/2/3	高	

*列車制限は、小会社/公共会社/ JR

4 会社

4.1 個人会社一覧

有馬鉄道

価格: \$20 収益: \$5

通常のタイルの配置に加えて有馬にタイルを配置できる。

神戸市電

価格: \$40 収益: \$10

特殊能力なし

阪堺電鉄

価格: \$70 収益: \$15(5)

5 列車以降も閉鎖せず、代わりに収益が\$5 になる。

二国鉄道

価格: \$110 収益: \$20

購入時に阪神電鉄の 10% 株券を無料で受け取る。

京津鉄道

価格: \$160 収益: \$25

購入時に京阪電車の 10% 株券を無料で受け取る。

大阪市電

価格: \$220 収益: \$30

購入時に大阪市営地下鉄の社長株を無料で受け取る。この会社は公共会社に売却できない。地下鉄が最初の列車を購入すると閉鎖される。資産に数えない。

4.2 小会社一覧

① 河南鉄道

価格: \$100 資産: \$100

3 列車以降、近鉄に合流可能 (4 列車で強制)。合流時に近鉄の 10% 株券と変換。金庫の資金の半額 (端数切捨) を河南の社長に支払う。

② 大阪電気軌道

価格: \$200 資産: \$200

購入時に近鉄の初期価格を決定する。3 列車以降、近鉄を設立可能 (3+3 列車で強制)。設立時に近鉄の社長株と交換。設立時に近鉄は特別運行を行なう (内部留保でも株価は後退しない)。

③ 大阪鉄道

価格: \$100 資産: \$100

近鉄設立時に強制合流。合流時に近鉄の 10% 株券と変換。

④ 奈良電鉄

価格: \$160 資産: \$320

5 列車以降、近鉄に合流可能 (6 列車で強制)。合流時に近鉄の 10% 株券 2 枚と変換。

⑤ 神戸電鉄

価格: \$100 資産: \$200

閉鎖しない。後発会社神戸電鉄に変換可能。

4.3 後発会社一覧

第 2 株式ラウンドから自由に定価で購入できる。

京福電鉄

価格: \$200 収益: \$40

京阪の駅が京都にあれば、OR 毎に京阪の金庫に +\$40

神戸高速鉄道

価格: \$240 収益: 特殊

神戸に駅トークン ⑥ を置く。他社は駅トークンの配置の代わりに\$100 を銀行に支払って ⑥ を使用できる。JR 以外が神戸を使用するごとに神戸の価値の $\frac{1}{2}$ を得る。

北大阪急行

価格: \$280 収益: \$60

6 列車が購入された次の運営ラウンドの収益は\$100

泉北高速鉄道

価格: \$320 収益: \$70

公共会社の駅が堺にあれば、OR 毎にその会社の金庫に +\$40

神戸電鉄

価格: \$0 収益: \$10

株券の保有制限に数えない。

5 初期資金と株券保有制限

銀行	\$12000 (-\$2520)					
プレーヤー	2	3	4	5	6	7
初期所持金	\$1260	\$840	\$630	\$504	\$420	\$360
株保有制限	26	18	15	13	11	7